

令和7年度 松江市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和8年5月

松江市（島根県）

○計画期間:令和7年4月～令和12年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点(令和8年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市は、平成20年7月に国から「松江市中心市街地活性化基本計画」の認定を受け、その後、平成25年3月に「2期松江市中心市街地活性化基本計画」、令和元年12月に「3期松江市中心市街地活性化基本計画」、令和7年3月に「4期松江市中心市街地活性化基本計画」の認定を受けた。

4期計画においては、“既存ストックの活用などによる活気の創出”、“水辺空間の活用などによるまちなかの賑わいづくり”、“歴史・文化資源を生かした観光振興・交流の拡大”の3つの基本方針のもと、官民が連携して事業を展開し、中心市街地活性化に取り組んでいる。

近年、「チャレンジショップ支援事業補助金」による新規出店が高水準で推移していたが、令和7年度は8件に留まった。しかしながら、新規出店を検討する方からの問い合わせや相談は一定数あること、これまでに既存ストックを活用し新規出店した店舗による賑わいが生まれている状況などから今後の広がりにも期待ができる。

現在、JR松江駅と国宝松江城を繋ぐラインのほぼ中間エリアに民間事業者による日帰り温泉と宿泊機能を備えた複合施設が建設されており、令和8年5月のオープン後にはこれまでと異なる層の人々が中心市街地エリアを訪れるきっかけになると考えている。この契機を活かし、各種イベントの開催や令和7年11月に開始した松江シェアサイクル「ラフチャリ。」による回遊性向上など中心市街地活性化に繋がる様々な事業を展開することで、「歩行者・自転車通行量」のさらなる増加にも繋げたい。

「水辺の公共空間の活用日数・来訪者数」について、水辺を活用したイベントが数多く実施されたことなどから順調に推移している。令和7年度は松江市役所新庁舎本館や宍道湖北岸の多目的テラスがオープンしたことから、今後さらなる水辺空間の利活用促進に努めていく。

「外国人宿泊客数」はこれまでで最高値の57千人となり順調に推移している一方で、「中心市街地内の宿泊客数」は近年の物価高騰や旅行需要の変化などもあり伸び悩んだと考えられる。令和7年9月から放送されたNHK連続テレビ小説「ばけばけ」による効果を一過性で終わらせることなく様々な取り組みを進めるとともに、同年12月に中国地方で初めて導入した宿泊税を活用し観光地としての魅力を高めるための施策や観光戦略を実行することで、宿泊客数増加に向けた取り組みを進めていく。

中心市街地の活性化に向けて令和7年度は様々な取り組みが行われたことで中心市街地活性化の機運醸成がなされた年であった。引き続き官民で連携して事業を進めることで、中心市街地の活性化を目指していく。

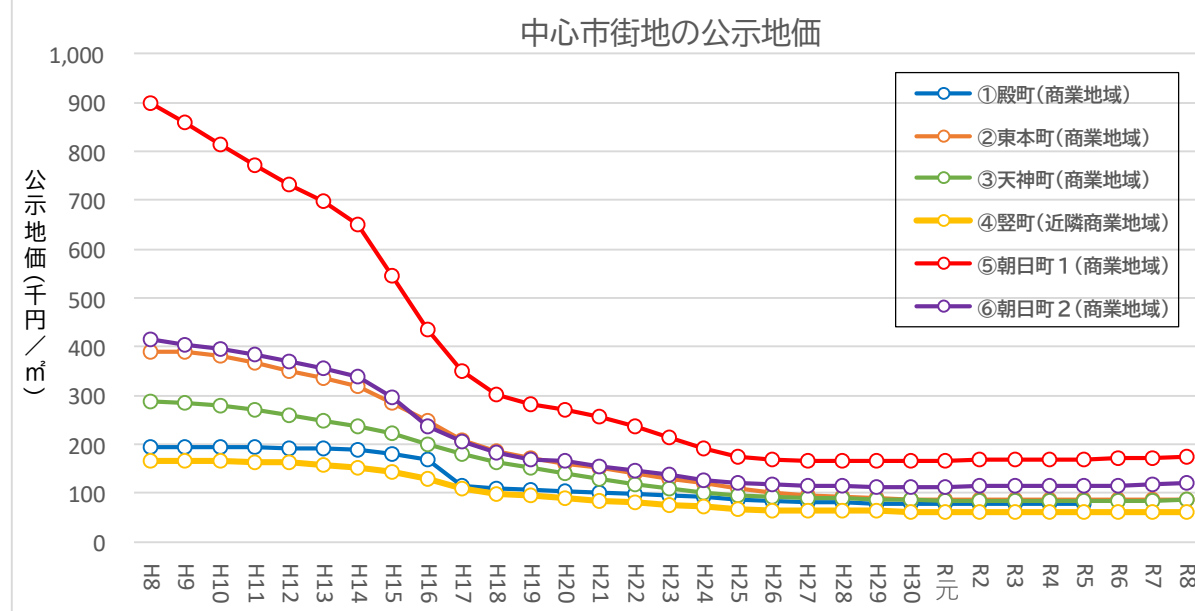
【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度 1 月 1 日)

(中心市街地 区域)	令和 6 年度 (計画前年度)	令和 7 年度 (1 年目)	令和 8 年度 (2 年目)	令和 9 年度 (3 年目)	令和 10 年度 (4 年目)	令和 11 年度 (5 年目)
人口	7,182 人	7,143 人				
人口増減数	-4 人	-39 人				
自然増減数	-131 人	-93 人				
社会増減数	127 人	54 人				
転入者数	358 人	323 人				

(2) 地価



資料：国土交通省地価公示

2. 令和7年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和 7 年度は、令和 7 年 3 月に「4 期松江市中心市街地活性化基本計画」が承認されて以降、中心市街地エリア内外の事業者を含めた行政機関との一層の連携の下、各種事業が円滑に推進されたと考える。

本基本計画は、方針として「既存ストック活用などによる活気の創出」、「水辺空間の活用などによるまちなかの賑わいづくり」、「歴史・文化資源を活かした観光振興・交流の拡大」の 3 点を掲げ、明確な将来の方向性を示すとともに、実現可能な目標と目標値が設定されている。

とりわけ「既存ストックの活用などによる活気の創出」においては、都市再生推進法人である㈱まつくるが実施している持続的なコーディネートと諸活動の推進主体者としての役割により、民間企業と行政・協議会との連携が一層加速しており、施設整備事業によるまちなか拠点の創出や土曜夜市による賑わい創出事業が定着して来たと感じる。

また、NHK 連続テレビ小説放送に伴う来松者の効果と松江シェアサイクル「ラフチャリ」の運用開始により、中心市街地の歩行者と自転車通行量が増加した事、さらに、社会実験を重ねられた「河川空間のオープン化」で民間の自発的な利活用が促進され来場者の回遊性が高まった事も中心市街地の活性に大きく寄与したと考える。

重ねて「職人商店街整備」・「水辺の利活用」を後押しする事業実施、空き家・空き店舗のゲストハウス・飲食店等への改装事業を推進され交流人口増や消費拡大を継続して促進されている事からも今後もエリア内外の事業者を含めた行政機関との一層の連携を求める。併せて、「チャレンジショップ支援事業補助金」を活用された出店事業者のフォローの継続は必須であり、若手起業家の出店や商店街イベントへの学生の参画、経営者の経営革新（SNS 活用・キャッシュレス決済等）などの取り組みによる観光地の再生・観光サービスの高付加価値化による魅力向上も引き続いて推進しなければならないと考える。このことについては、実現に向けたハード・ソフト事業の両面から、具体的な取り組みも提示されていることから、4 期計画が円滑かつ着実に実施されることにより、中心市街地の活性化に大きく寄与するものと考ええる。

以上のことを踏まえ、本協議会としては官・民・学が一層連携し、一体的に各種事業を協働で進めていくことが重要であると考えており、4 期計画のスピーディーで着実な事業推進と協議会の運営に対し今後とも積極的な支援を要望する。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の見通し	今回の見通し
既存ストックの活用などによる活気の創出	遊休不動産の事業化件数	63 件 (R1～R5 年度累計)	75 件 (R7～R11 年度累計)	9 件 (R7 年度累計)	C	-	A
	(※補完指標) 歩行者・自転車通行量 (平日・休日2日間)	18,571 人 (R5 年度)	24,500 人 (R11 年度)	25,015 人 (R7 年度)	A	-	A
水辺空間の活用などによるまちなかの賑わいづくり	水辺の公共空間の活用日数	1,475 日 (R1～R5 年度累計)	1,972 日 (R7～R11 年度累計)	366 日 (R7 年度累計)	B	-	A
	(※補完指標) 水辺の公共空間の来訪者数	670 千人 (R5 年度)	692 千人 (R11 年度)	700 千人 (R7 年度)	A	-	A
歴史・文化資源を活かした観光振興・交流の拡大	中心市街地内の外国人宿泊客数	42 千人 (R1 年)	80 千人 (R11 年)	57 千人 (R7 年)	B	-	A
	中心市街地内の宿泊客数	1,386 千人 (R1 年)	1,600 千人 (R11 年)	1,199 千人 (R7 年)	C	-	B

< 基準値からの改善状況 (※1) >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A : 目標達成が見込まれる

B : 目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C : 目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「< 基準値からの改善状況 (※1) >」、< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。(例 : a、b、c)

2. 目標達成見通しの理由

「遊休不動産の事業化件数」については、実績値 9 件のうち、チャレンジショップ支援事業によるものが 8 件、職人商店街創出支援事業によるものが 1 件であった。チャレンジショップ支援事業では、実績としてはあがらないものの新規出店を検討する方からの問い合わせや相談を受けていることから継続して制度の周知や商工会議所とともに申請のフォローを行っていく。

あわせて、「水の都松江のまちの Re project」事業などによる新たな遊休不動産の掘り起こしや不動産オーナーへの協力依頼・活用への意識啓発を行うことで、遊休不動産の事業化件数の増加を目指す。

「歩行者・自転車通行量（平日・休日 2 日間）」については、前年から 360 人減の 25,015 人となり前年度と比比較すると減少したものの、目標値は超える結果となった。この水準を毎年継続させていくことが重要であるため、遊休不動産の活用や次年度新たにオープンする日帰り温浴と宿泊機能を備えた複合施設などと連携しさらなる賑わいの創出を目指す。

「水辺の公共空間の活用日数」については、単年度目標値 370 日に対し、実績値 366 日とわずかに目標に届かなかったものの、順調に推移していると考えている。今後は松江市役所新庁舎本館のオープンや湖畔公園再整備事業の進展により、さらなる活用日数の伸張を目指す。

「水辺の公共空間の来訪者数」については、令和 6 年度から 11 千人増加の 700 千人となり、目標達成となった。「松江水郷祭」の来訪者数が 690 千人であったことが大きく影響したことに加え、その他、水辺を活用したイベントも数多く実施されたことが要因である。今後もイベント等の開催が見込めることから、引き続き水辺の来訪者数の増加を目指す。

「中心市街地内の外国人宿泊客数」については、令和 6 年から 15 千人増の 57 千人となった。基準値である令和元年からの増加率ではわずかに目標を上回っており、順調に推移しているため、松江城や宍道湖の夕日などの松江市がもつ自然・歴史・文化資源を磨き上げることで観光振興の拡大に繋げていく。

「中心市街地内の宿泊客数」については、令和 6 年から 7 千人減の 1,199 千人となった。

NHK 連続テレビ小説「ばけばけ」の放送などの効果から観光入込客数は増加したものの、中心市街地内の宿泊客数の増加には繋がらなかった。魅力ある観光素材の磨き上げとして、城下町松江の街並み、茶の湯や和菓子、伝統行事など自然・歴史・文化資源を活かすことに加え、光・灯りの演出や夜のイベントの充実などにより、ナイトタイムエコノミーの振興を図り、松江の魅力向上に取り組んでいく。

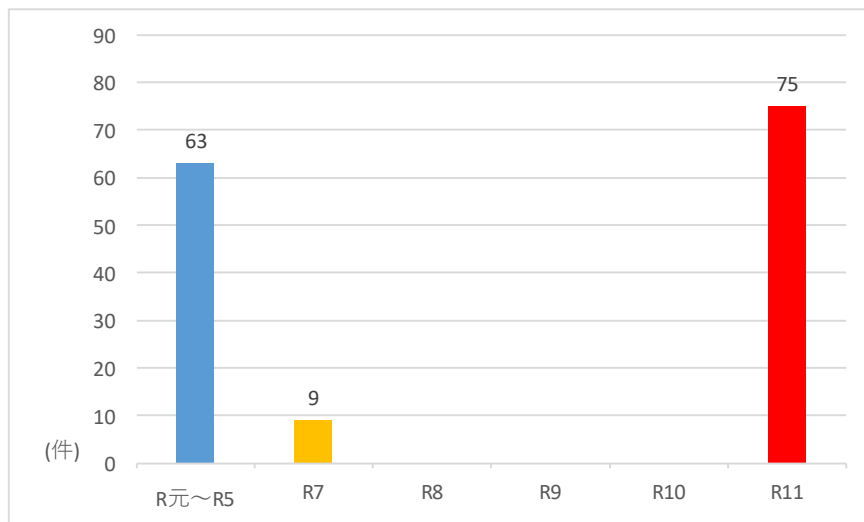
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「遊休不動産の事業化件数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 55～P. 56 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
R5	63 (基準年値) (R1～R5 累計)
R7	9 (年間 9)
R8	
R9	
R10	
R11	75 (目標値) (R7～R11 累計)

※調査方法：主要事業における事業化件数

※調査月：毎年4月1日～3月31日

※調査主体：松江市

※調査対象：中心市街地の遊休不動産

〈分析内容〉

遊休不動産の事業化件数に向けた各事業については、概ね予定通り完了した。

実績値9件のうち、チャレンジショップ支援事業によるものが8件、職人商店街創出支援事業によるものが1件となっている。チャレンジショップ支援事業について、補助事業活用に向けた問い合わせや相談は例年どおり受けていることから次年度以降に成果があがるものもあると考える。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. チャレンジショップ支援事業（松江市）

事業実施期間	平成9年～【実施中】
事業概要	中心市街地等の空き店舗等で、新たに出店しようとする事業者に対して家賃等の補助を行うことで、開業時の負担を軽減し、新規出店を促すことで商業の振興と地域経済の活性化を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和7年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】72件（累計） 【最新値】8件（累計） 補助事業活用に向けた問い合わせや相談は例年どおり受けてたものの、令和7年度は8件の実績となった。
事業の今後について	令和7年度は実績に結びつかなかったものの、依然として本事業の問い合わせや相談を受けており、出店希望者をきめ細やかに支援し

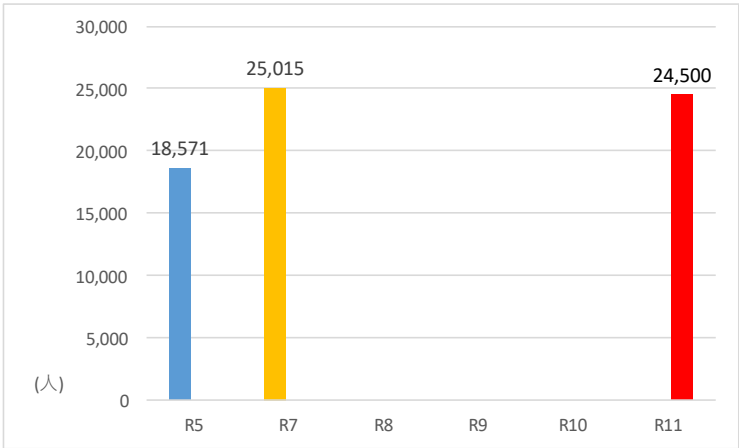
	ていくことで中心市街地への新規出店に結び付け、遊休不動産事業化に向けて取り組んでいく。
②. 都市再生推進法人による施設整備事業（民間企業・まつえ白潟賑わい協議会）	
事業実施期間	令和 6 年度～【実施中】
事業概要	白潟エリアの賑わい創出のために拠点施設や娯楽施設を整備するとともに住居兼店舗エリアの整備を行うもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】5 件（累計） 【最新値】0 件（累計） ・てんじんBASE：郷土料理店と事業所の複合施設 3 テナント（2024 年 5 月オープン） ・しらかたBASE：店舗等と商工会議所のスタートアップ拠点の複合施設 4 テナント（2024 年 11 月オープン）
事業の今後について	2023 年 3 月に策定した「まつえ白潟賑わい具体化構想」を基盤とし、今後 5 年間を見据えた新たな「白潟エリア賑わい具体化構想」を 2026 年 3 月に策定した。 本構想では、コンセプトを従来の「稼ぐ力のあるまち」から、「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」へと発展させるとともに、「まつえ白潟賑わい協議会」を中核に、行政・住民・事業者が一体となって、持続的なまちなかの賑わい創出を推進する。 ・ほんまち BASE：キッチンカーパーク（2026 年 5 月オープン予定） ・わだみ BASE：2 事業所と 2 住居の複合施設（2026 年 10 月オープン予定）
③. 職人商店街創出支援事業（松江市）	
事業実施期間	令和 4 年度～【実施中】
事業概要	JR 松江駅から松江城までの L 字ラインを中心に、優れた職人の技を「観て、体験できる」店舗、まちの活気を感じられる賑わいの拠点、飲食や買い物を楽しめる店舗がつながり、賑わいの「点」が「線」、そして「面」へと発展する回遊性のある商店街を創出する事業
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 7 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】1 件（累計） 令和 7 年度は家具製造販売を行う事業者が移店にあわせて「観える化・体験提供」に取り組んだ。

事業の今後について	今後も事業を周知し活用店舗を増やしていくことで、遊休不動産の活用を進め、面的な職人商店街の形成に向けて取り組む。
④. 水の都松江のまちの Re-project（松江市）	
事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	遊休不動産のリノベーションによって、飲食店やシェアオフィスなどまちのニーズに合った新しいコンテンツを創出し、エリアの価値向上を図る「エリアリノベーション」の推進により、遊休不動産を活用した実践事例をつくり、地域の人材育成と遊休資産活用、雇用の創出、居住の促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】 0 件（累計） 遊休不動産を題材とした事業化提案を求める取り組みから普及啓発へ主たる取り組みを移行した。チャレンジショップ支援事業等、他の遊休不動産の事業化の取組みを後押ししているものとする。普及啓発として、令和 3 年度に策定した「松江市リノベーションまちづくりガイドライン」、プロモーション動画や SNS を活用した情報発信を行っている。また、都市再生推進法人の指定及び業務連携を行っている。
事業の今後について	地方創生推進交付金事業としては令和 3 年度で完了したが、令和 4 年度以降も引き続き「水の都松江のまちの Re-project」を実施している。遊休不動産の所有者に対して当事業の情報提供・空き家空き店舗の利活用意識調査を行うことで、新たな遊休不動産の掘り起こしを行い利活用につなげる。また、リノベーションまちづくりのガイドラインを活用した普及啓発に取り組むとともに、SNS や動画を活用した情報発信を強化する。さらに、R5 年度より都市再生推進法人の指定を開始し、官民連携でのまちなか再生を推進する。
●目標達成の見通し及び今後の対策 「遊休不動産の事業化件数」の各主要事業は概ね順調に進捗している。 「チャレンジショップ支援事業」については、出店希望者をきめ細やかに支援していくことで事業化件数の伸張に取り組んでいく。 「都市再生推進法人による施設整備事業」及び「職人商店街創出支援事業」では、令和 8 年度に新規案件が予定されていることから、本案件による整備と他事業を連携させながら中心市街地の賑わい創出を推進していく。 「水の都松江まちの Re - project」については、遊休不動産の掘り起こしと不動産オーナーへの協力依頼及びリノベーションまちづくりのガイドラインを活用した普及啓発に取り組むとともに、SNS や動画を活用した情報発信を強化する。また、都市再生推進法人の	

指定および業務連携を行い、リノベーションまちづくりの推進による遊休不動産の事業化の取組みを後押しする。

（２）「歩行者・自転車通行量（平日・休日２日間）」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 57～P. 59 参照

●調査結果と分析



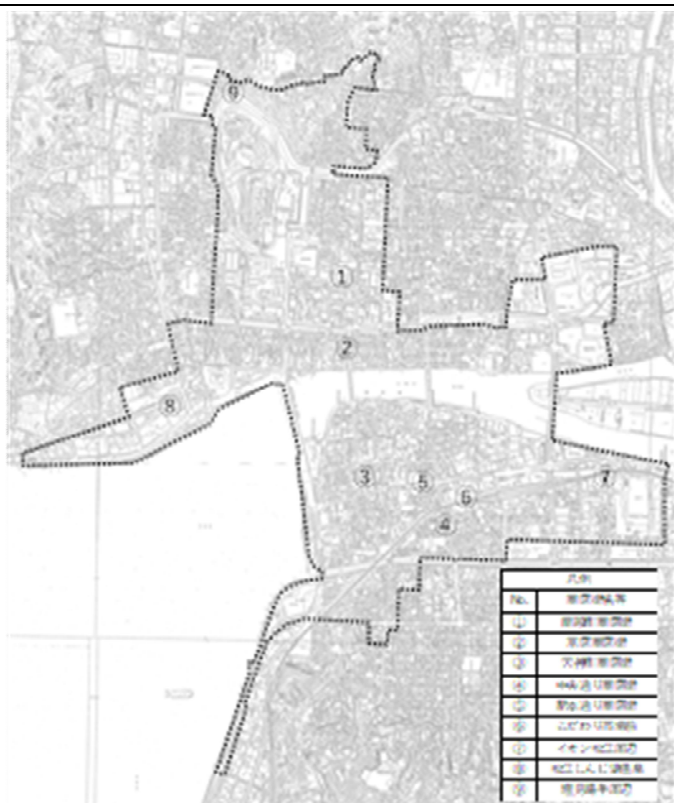
年	(人)
R5	18, 571 (基準年値)
R7	25, 015
R8	
R9	
R10	
R11	24, 500 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行者数を毎年 10～11 月の平日・休日に、市内 9 地点において 11 時～18 時で計測

※調 査 月：10～11 月

※調査主体：松江市

※調査対象：中心市街地内の 9 地点（みしまや中央店（南殿町商店街）、末次本町広場（京店商店街）、中村茶舗前（天神町商店街）、島根県不動産会館前（中央通り商店街）、ポートピアビル前（駅本通り商店街）、駅駐輪場横高架下（こだわり市場前）、元丸三西側高架下（イオン松江周辺）、松江しんじ湖温泉南側（松江しんじ湖温泉）、小泉八雲記念館前（塩見縄手周辺））における歩行者及び自転車の通行量



〈分析内容〉

歩行者・自転車通行量の増加に向けた各事業については、概ね予定どおり完了した。

近年の遊休不動産事業化件数の実績や地元商店街や民間事業者等が取り組む土曜夜市などのイベント実施によりまちなかに賑わいが生まれ、歩行者・自転車通行量の増加に結び付いていると推察される。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. チャレンジショップ支援事業（松江市）

事業実施期間	平成9年度～【実施中】
事業概要	中心市街地等の空き店舗等で、新たに出店しようとする事業者に対して家賃等の補助を行うことで、開業時の負担を軽減し、新規出店を促すことで商業の振興と地域経済の活性化を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和7年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】5,600人 【最新値】— 補助事業活用に向けた問い合わせや相談は例年どおり受けてたものの、令和7年度は8件の実績となった。
事業の今後について	令和7年度は実績に結びつかなかったものの、依然として本事業の問い合わせや相談を受けており、出店希望者をきめ細やかに支援していくことで中心市街地へ新規出店に結び付ける。新規出店の増加によりまちなかの賑わいを創出することで通行量増加に向けて取り組んでいく。

②. 都市再生推進法人による施設整備事業（民間企業・まつえ白潟賑わい協議会）

事業実施期間	令和 6 年度～【実施中】
事業概要	白潟エリアの賑わい創出のために拠点施設や娯楽施設を整備するとともに住居兼店舗エリアの整備を行うもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】400 人 【最新値】－ ・てんじんBASE：郷土料理店と事業所の複合施設 3 テナント（2024 年 5 月オープン） ・しらかたBASE：店舗等と商工会議所のスタートアップ拠点の複合施設 4 テナント（2024 年 11 月オープン）
事業の今後について	2023 年 3 月に策定した「まつえ白潟賑わい具体化構想」を基盤とし、今後 5 年間を見据えた新たな「白潟エリア賑わい具体化構想」を 2026 年 3 月に策定した。 本構想では、コンセプトを従来の「稼ぐ力のあるまち」から、「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」へと発展させるとともに、「まつえ白潟賑わい協議会」を中核に、行政・住民・事業者が一体となって、持続的なまちなかの賑わい創出を推進する。 ・ほんまち BASE：キッチンカーパーク（2026 年 5 月オープン予定） ・わだみ BASE：2 事業所と 2 住居の複合施設（2026 年 10 月オープン予定）

③. 職人商店街創出支援事業（松江市）

事業実施期間	令和 4 年度～【実施中】
事業概要	JR 松江駅から松江城までの L 字ラインを中心に、優れた職人の技を「観て、体験できる」店舗、まちの活気が感じられる賑わいの拠点、飲食や買い物を楽しめる店舗がつながり、賑わいの「点」が「線」、そして「面」へと発展する回遊性のある商店街を創出する事業
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 7 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－ 令和 7 年度は家具製造販売を行う事業者が移店にあわせて「観える化・体験提供」に取り組んだ
事業の今後について	今後も事業を周知し新規取組みを促すとともに、既存店舗で「観える化・体験提供」に取り組む店舗を職人商店街店舗に認証する「職

	人商店街認証制度」により店舗数を増やし面的な職人商店街を形成することで、通行量増加に向けて取り組んでいく。
④. 城下町・水の都魅力発信事業（松江市、（一社）松江観光協会）	
事業実施期間	令和４年度～【実施中】
事業概要	松江市が世界に誇る観光資源「国宝松江城」や「城下町文化」、「水の都」等の魅力を、広く国内外に発信していくための取り組み。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）（内閣府）（令和７年度～令和８年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－
事業の今後について	観光戦略プランを強力に推進するため、コンセプトである「Authentic Japan MATSUE ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。
⑤. 水の都松江のまちの Re-project（松江市）	
事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	遊休不動産のリノベーションによって、飲食店やシェアオフィスなどまちのニーズに合った新しいコンテンツを創出し、エリアの価値向上を図る「エリアリノベーション」の推進により、遊休不動産を活用した実践事例をつくり、地域の人材育成と遊休資産活用、雇用の創出、居住の促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－ 遊休不動産を題材とした事業化提案を求める取り組みから普及啓発へ主たる取り組みを移行した。チャレンジショップ支援事業等、他の遊休不動産の事業化の取組みを後押ししているものとする。普及啓発として、令和３年度に策定した「松江市リノベーションまちづくりガイドライン」、プロモーション動画や SNS を活用した情報発信を行っている。
事業の今後について	地方創生推進交付金事業としては令和３年度で完了したが、令和４年度以降も引き続き「水の都松江のまちの Re-project」を実施している。遊休不動産の所有者に対して当事業の情報提供・空き家空き店舗の利活用意識調査を行うことで、新たな遊休不動産の掘り起こしを行い利活用につなげる。また、リノベーションまちづくりのガイドラインを活用した普及啓発に取り組むとともに、SNS や動画を活用した情報発信を強化する。さらに、R5 年度より都市再生

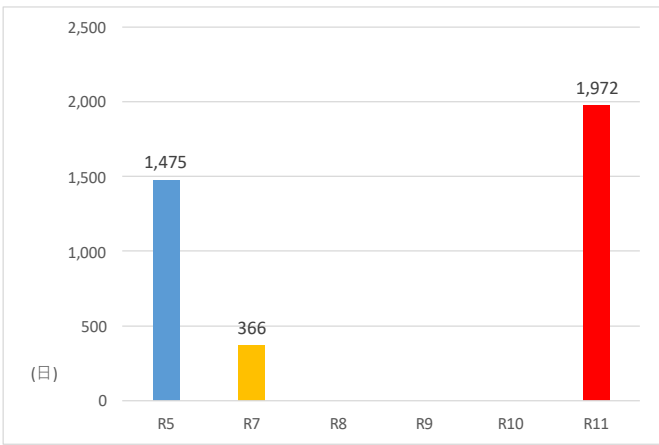
推進法人の指定を開始し、官民連携でのまちなか再生を推進する。
これらの取り組みを継続することで、今後まちに新たなコンテンツ
が創出され、通行量の増加につながるものとする。

●目標達成の見通し及び今後の対策

「歩行者・自転車通行量（平日・休日）」の各主要事業は概ね順調に進捗している。
都市再生推進法人を主とした新規施設の整備やイベントの実施、民間事業者による新規
出店、公共事業による水辺や道路整備など引き続き官民連携による取り組みを行っていく
ことで今後の通行量の増加に期待できる。

（３）「水辺の公共空間の活用日数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 60～P. 63 参照

●調査結果と分析



年	(日)
R5	1,475 (基準年値)
R7	366
R8	
R9	
R10	
R11	1,972 (目標値)

※調査方法：市、県、国に対する利用申請又は届出等

※調査月：毎年４月１日～３月３１日

※調査主体：松江市

※調査対象：松江市、島根県、国土交通省 出雲河川事務所が管理する水辺の公共空間に
対して利用に関する申請又は届出等があった日数の累計



〈分析内容〉

水辺の公共空間の活用日数の増加に向けた事業については、概ね予定どおり完了した。

「水辺の利活用推進事業」での各種イベント開催や、松江市役所新庁舎テラスの活用などにより利用日数が増加した。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 湖畔公園再整備事業（松江市）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	道湖岸や松江しんじ湖温泉等の立地特性を踏まえ、公園の将来の利用形態を見据えた再整備を行うことで、水辺や市街地の賑わいを創出していくもの。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市公園・緑地等事業） 防災・安全交付金（都市公園・緑地等事業）（国土交通省）（令和 7 年度～令和 9 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】92 日（累計） 【最新値】－ 千鳥南公園再整備工事（令和 7 年度） ・詳細設計修正業務 ・既設構造物撤去工事・ちゃぶちゃぶ広場周辺粗造成工事 ・ちゃぶちゃぶ広場安全施設設置工事（令和 8 年度へ繰越）
事業の今後について	令和 9 年度末の完成に向け順調に整備工事を進めている。再整備工事の完了後は、千鳥南公園の利活用が促進され、水辺の公共空間の活用日数増加に寄与するものと考えている。

②. 水辺の利活用推進事業（松江市）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	大橋川周辺まちづくり基本計画や宍道湖・大橋川かわまち計画に基づき、官民で構成するミズベリング松江協議会を中心に、中心市街地の水辺の公共空間の利活用を進めることで、魅力的な水辺空間と中心市街地の回遊性の創出を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 7 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】25 日（累計） 【最新値】－ 令和 7 年度は、白潟公園において 10 月、11 月にマルシェや子どもが楽しめる多様な企画の「湖畔のあさひるよる」、「湖畔の朝あそび市」を実施した。伊勢宮港湾緑地では、4 月に「松江屋台 in 御手船場」や 10 月から 11 月にかけて「伊勢宮リバーサイド横丁～縁結びナイト～」といった飲食イベントを実施した。これらの事業により水辺の公共空間の利活用が図られた。

事業の今後について	水辺の公共空間における利活用の促進に向け、さらなる取組を図っていく。
-----------	------------------------------------

③. 新庁舎みんなのトライアル推進事業（松江市）

事業実施期間	令和５年度～【実施中】
事業概要	新庁舎全館完成に先立ち、令和５年度より供用開始している第１期棟を対象に、民間事業者や市民団体等がイベント等で利活用する実証事業を実施する。本事業は、多様な主体による新庁舎の活用を通じて、新庁舎の運用ルールや効果的な活用方策を実践的に検討し、市民に開かれた魅力ある庁舎空間の創出に繋げることとともに本事業が持続可能な事業となるよう取り組む。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】１００日（累計）（令和８～１１年度） 【最新値】４６日（参考値）
事業の今後について	第１期棟でのトライアルで得られた知見や課題を基に、令和８年度完成予定の第２期棟も含めた新庁舎全体の利活用計画を策定し、運用ルールを改定・整備する。これにより、庁舎の機能性向上と市民サービスの拡充を目指す。 また、令和８年度は、持続可能な事業運営モデルの構築に向け、民間活力を導入する委託部分の検討を具体的に進める。ハード面（施設セキュリティ、設備導入等）とソフト面（企画運営、受付体制等）の両面から具体的な検討を進め、官民連携による効果的かつ継続的な利活用を促進していく。将来的には、トライアルを通じて発掘された多様な活用アイデアを具現化し、新庁舎が市民の交流や活動の拠点として、まちの賑わい創出に寄与することを目指す。

④. 松江水郷祭（松江水郷祭推進会議）

事業実施期間	昭和４年度～【実施中】
事業概要	市民の祭りとして定着している松江水郷祭を日本有数の花火大会として県外へＰＲし観光誘客を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和７年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－
事業の今後について	宍道湖において、松江水郷祭湖上花火大会を２日間開催する。

⑤. まつえ循環プロジェクト推進事業（松江市）

事業実施期間	令和 4 年度～【実施中】
事業概要	循環をテーマとしたイベントなどの様々な取組みにより環境にやさしい「暮らし」・「社会」へと転換させていくプロジェクト
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 7 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－
事業の今後について	今後も引き続き、市民や観光客が気軽に参加可能な「まつえファーマーズマーケット」を市役所テラスで開催し、資源循環や環境に配慮した出店者によるマーケットや、ワークショップ等を通じて、賑わい創出に寄与する。

⑥. 白湯地区都市構造再編集支援事業（松江市）

事業実施期間	令和 2 年度～令和 16 年度【実施中】
事業概要	大橋川改修事業を契機として、拡幅箇所となる白湯地区において、水辺空間と既存ストックの活用により、中心市街地の回遊性向上と、賑わいの創出を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中央支援事業（白湯地区（第 2 期））（国土交通省）（令和 2 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－
事業の今後について	令和 8 年度は、引き続き電線類の地中化工事・歩行空間整備工事を進めており、安心・安全で快適な水辺の良好な景観形成を創出した公共空間の整備につなげていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

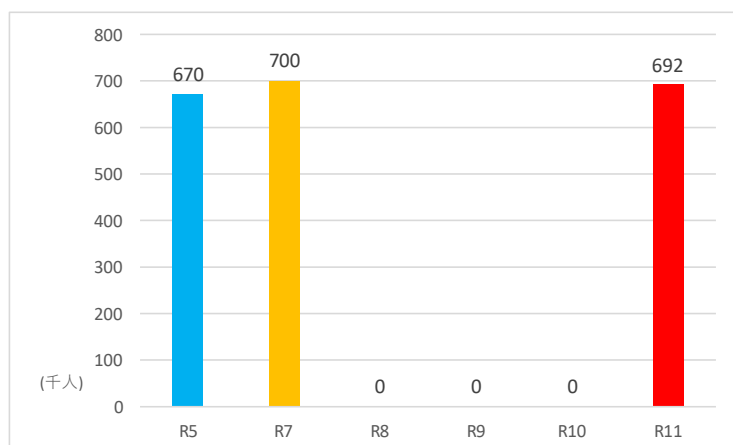
「水辺の公共空間の活用日数」の各主要事業は概ね順調に進捗している。

特に、令和 8 年度初期には市役所新庁舎が全館オープンすることから、宍道湖に隣接するテラスの活用などを通じて市民に開かれた魅力ある庁舎空間を創出する。

ハード及びソフト両面から利便性の良い水辺と融合した公共空間の整備や居心地良く歩きたくなる道路整備を進めることにより、中心市街地の回遊性向上と賑わいあるまちなかの創出を図る。

（４）「水辺の公共空間の来訪者数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 64～P. 66 参照

●調査結果と分析



年	(千人)
R5	670 (基準年値)
R7	700
R8	
R9	
R10	
R11	692 (目標値)

※調査方法：松江市観光動態調査等

※調査月：毎年４月１日～３月３１日

※調査主体：松江市

※調査対象：水辺の公共空間で開催されたイベントの観客数等

〈分析内容〉

水辺の公共空間の来訪者数の増加に向けた事業については、概ね予定どおり完了した。
松江水郷祭やミズベリング松江協議会等が行う各種イベントにより、水辺空間への来訪者数が順調に伸びた。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 湖畔公園再整備事業（松江市）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	道湖岸や松江しんじ湖温泉等の立地特性を踏まえ、公園の将来の利用形態を見据えた再整備を行うことで、水辺や市街地の賑わいを創出していくもの。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市公園・緑地等事業） 防災・安全交付金（都市公園・緑地等事業）（国土交通省）（令和７年度～令和９年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－ 千鳥南公園再整備工事（令和７年度） ・詳細設計修正業務 ・既設構造物撤去工事・ちゃぶちやぶ広場周辺粗造成工事 ・ちゃぶちやぶ広場安全施設設置工事（令和８年度へ繰越）
事業の今後について	令和９年度末の完成に向け順調に整備工事を進めている。再整備工事の完了後は、千鳥南公園の利活用が促進され、水辺の公共空間の来訪者数増加に寄与するものと考えている。

②. 水辺の利活用推進事業（大橋川周辺まちづくり事業）（各種団体）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	大橋川周辺まちづくり基本計画や宍道湖・大橋川かわまち計画に基づき、官民で構成するミズベリング松江協議会を中心に、中心市街地の水辺の公共空間の利活用を進めることで、魅力的な水辺空間と中心市街地の回遊性の創出を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 7 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】8,980 人 令和 7 年度は、白湍公園において 10 月、11 月にマルシェや子どもが楽しめる多様な企画の「湖畔のあさひるよる」、「湖畔の朝あそび市」を実施した。伊勢宮港湾緑地では、4 月に「松江屋台 in 御手船場」や 10 月から 11 月にかけて「伊勢宮リバーサイド横丁～縁結びナイト～」といった飲食イベントを実施した。これらの事業により多くの来訪者が水辺の公共空間に足を運び、にぎわいが生まれた。
事業の今後について	水辺の公共空間をより多くの方に訪れていただけるよう、さらなる利活用に向けて取り組んでいく。

③. まつえ循環プロジェクト推進事業（松江市）

事業実施期間	令和 4 年度～【実施中】
事業概要	循環をテーマとしたイベントなどの様々な取組みにより環境にやさしい「暮らし」・「社会」へと転換させていくプロジェクト
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 7 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－
事業の今後について	今後も引き続き、市民や観光客が気軽に参加可能な「まつえファーマーズマーケット」を市役所テラスで開催し、資源循環や環境に配慮した出店者によるマーケットや、ワークショップ等を通じて、賑わい創出に寄与する。

④. 新庁舎みんなのトライアル推進事業（松江市）

事業実施期間	令和 5 年度～【実施中】
事業概要	新庁舎全館完成に先立ち、令和 5 年度より供用開始している第 1 期棟を対象に、民間事業者や市民団体等がイベント等で利活用する実証事業を実施する。本事業は、多様な主体による新庁舎の活用を

	通じて、新庁舎の運用ルールや効果的な活用方策を実践的に検討し、市民に開かれた魅力ある庁舎空間の創出に繋げることとともに本事業が持続可能な事業となるよう取り組む。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－
事業の今後について	第１期棟でのトライアルで得られた知見や課題を基に、令和８年度完成予定の第２期棟も含めた新庁舎全体の利活用計画を策定し、運用ルールを改定・整備する。これにより、庁舎の機能性向上と市民サービスの拡充を目指す。 また、令和８年度は、持続可能な事業運営モデルの構築に向け、民間活力を導入する委託部分の検討を具体的に進める。ハード面（施設セキュリティ、設備導入等）とソフト面（企画運営、受付体制等）の両面から具体的な検討を進め、官民連携による効果的かつ継続的な利活用を促進していく。将来的には、トライアルを通じて発掘された多様な活用アイデアを具現化し、新庁舎が市民の交流や活動の拠点として、まちの賑わい創出に寄与することを目指す。

⑤. 松江水郷祭（松江水郷祭推進会議）

事業実施期間	昭和４年度～【実施中】
事業概要	市民の祭りとして定着している松江水郷祭を日本有数の花火大会として県外へＰＲし観光誘客を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和７年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】69万人
事業の今後について	日本有数の湖上花火イベントである松江水郷祭において、花火の演出強化、「水の都」にふさわしい趣向を凝らした演出等により訴求力のある花火大会へブラッシュアップすることで水辺の賑わいを創出していく。

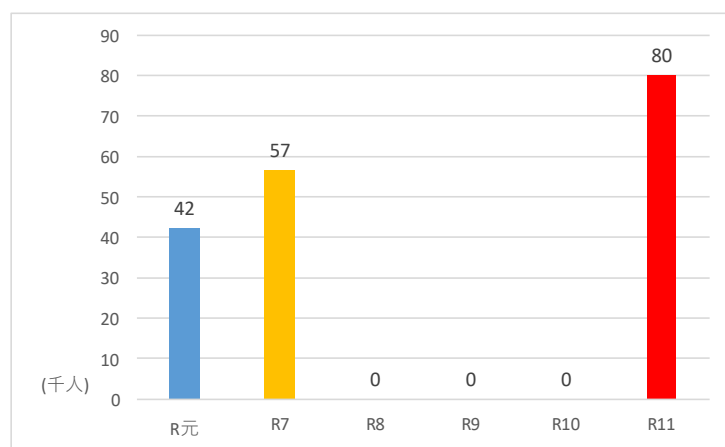
●目標達成の見通し及び今後の対策

「水辺の公共空間の来訪者数」は、各種イベントにより順調に伸びた。今後も水辺の公共空間の整備が進み、イベント等の開催がより活発になることが見込まれることから、関係団体に対して積極的に活用を働きかけることで、さらなる来訪者数の増加を目指していく。

今後の事業効果をさらに高めていくため、官民で構成するミズベリング松江協議会を中心に、民間事業者との連携を強化しながら取り組むことでさらなる事業効果が見込まれる。

(5)「中心市街地内の外国人宿泊客数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 67～P. 68
参照

●調査結果と分析



年	(千人)
R元	42 (基準年値)
R7	57
R8	
R9	
R10	
R11	80 (目標値)

※調査方法：松江市観光動態調査

※調査月：毎年1～12月

※調査主体：松江市

※調査対象：中心市街地内のホテル、旅館、公共の宿泊施設の年間外国人宿泊客数

〈分析内容〉

中心市街地内の外国人宿泊客数の増加に向けた事業については、概ね予定どおり完了した。

現状、目標値には達していないものの、国が掲げる令和7年の訪日外国人旅行者数(目標:4,108万人)に対する令和元年目標値(3,188万人)からの増加率を比較すると、0.07ポイント上回る結果となったことから、令和11年に向けて順調に推移していると考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 城下町・水の都魅力発信事業(松江市、(一社)松江観光協会)

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	松江市が世界に誇る観光資源「国宝松江城」や「城下町文化」、「水の都」等の魅力を、広く国内外に発信していくための取り組み。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)(内閣府)(令和7年度～令和8年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】—
事業の今後について	観光戦略プランを強かに推進するため、コンセプトである「Authentic Japan MATSUE ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。

②. インバウンド観光推進事業（松江市、（一社）松江観光協会）

事業実施期間	平成 23 年度～【実施中】
事業概要	海外に向けたプロモーションや情報発信を行うとともに、外国人観光客が快適に滞在、周遊できる環境整備を行うもの。また、長期滞在と消費拡大に向け、各国の富裕層の誘客に取り組むもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－
事業の今後について	引き続き、海外に向けたプロモーションや情報発信を行うとともに、周遊できる受け入れ環境整備を行う。

③. 松江武者行列事業（松江市、松江市武者行列実行委員会）

事業実施期間	平成 15 年～【実施中】
事業概要	松江開府の祖、堀尾吉晴公とその一行が入城する様子を絢爛豪華な時代絵巻として再現する。勇壮な武者や色鮮やかな姫などに扮した毎年 200 人を超える参加者が、松江城を目指し市内を練り歩く事業。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 7 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－
事業の今後について	市内周辺商店街と協力し賑わいを創出し、観光誘客につなげる。また、インバウンド事業を意識して体験等を増やし、外国人宿泊数の増加につなげていく。

④. 松江水燈路（松江市、松江ライトアップキャラバン実行委員会）

事業実施期間	平成 15 年度～【実施中】
事業概要	毎年秋に松江城を中心にその周辺施設などの歴史的景観をライトアップする。また、市民の手作りの灯りにより、滞在時間の増加と夜の観光振興を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）（内閣府）（令和 7 年度～令和 8 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－
事業の今後について	松江城周辺の周遊を促し、夜の観光振興を図ることで外国人宿泊客数の増加につなげていく。

⑤. 外国人観光客モニター事業（（一社）松江観光協会）

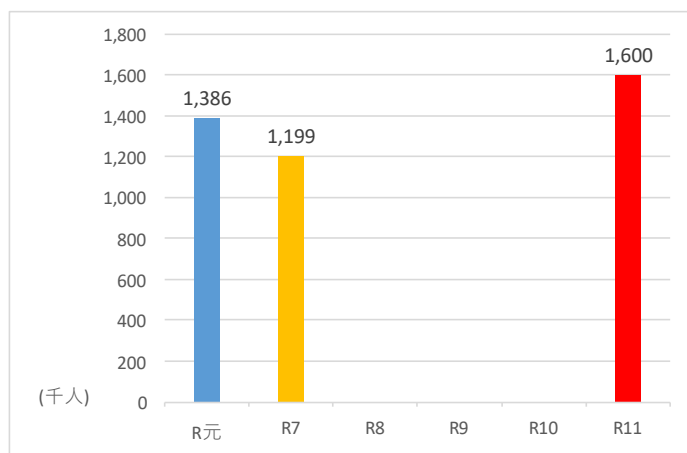
事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	外国人観光客を対象に、広島－松江間高速バス運賃を割引することで、広島県に訪れる多数の外国人観光客の誘致を図り、宿泊客数の増加及び観光消費額の拡大に結びつけるもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－
事業の今後について	2026 年度からバス事業者が新たに実施する「広島松江間高速バスの外国人利便性向上策（海外 O T A でのチケット予約・販売）」の周知を図るため、島根県、出雲市と連携し、Web プロモーション事業を実施する。価格面の優遇する施策の必要性は低下していることから、バスチケット購入の利便性向上により、外国人の広島松江間高速バスの利用を促進し、ひいては広島からの外国人誘客につなげる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

「中心市街地内の外国人宿泊客数」については増加傾向にある。目標値には達していないものの、今後のインバウンド需要の高まりと近隣空港を発着する国際便などにより今後も引き続き増加していくものと考えられる。城下町・水の都魅力発信事業では、国宝松江城・お城まつりや武者のまち発信事業、夜の松江ブランディング事業など通じて、松江の魅力を強化していく。また、長期的なプロモーション戦略を実施することで、観光地としての魅力を高め、観光誘客及び宿泊者数の増加につなげる。

（６）「中心市街地内の宿泊客数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 69～P. 70 参照

●調査結果と分析



年	(千人)
R 元	1,386 (基準年値)
R7	1,199
R8	
R9	
R10	
R11	1,600 (目標値)

※調査方法：松江市観光動態調査

※調査月：毎年１月～１２月

※調査主体：松江市

※調査対象：中心市街地内のホテル、旅館、公共の宿泊施設の年間外国人宿泊客数

〈分析内容〉

「中心市街地内の宿泊客数」については、コロナ禍以前の水準まで近づいているものの、近年の物価高騰や旅行の回数でなく質を高める高付加価値化などの影響により目標値到達には至らなかったと推察される。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 城下町・水の都魅力発信事業（松江市、（一社）松江観光協会）

事業実施期間	令和４年度～【実施中】
事業概要	松江市が世界に誇る観光資源「国宝松江城」や「城下町文化」、「水の都」等の魅力を、広く国内外に発信していくための取り組み。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）（内閣府）（令和７年度～令和８年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－ 松江ならではの観光資源を生かして、「中心市街地の宿泊者数」の増加を図るために下記の事業を実施した。 ・桜のシーズンの観光誘客 松江武者行列と一体となって開催する「松江城お城まつり」を開催し、春の観光誘客を図った。 ・松江城天守国宝指定１０周年記念事業の実施 「特別版お城 EXPOin 松江」の開催 人工雲海とライトアップによる松江城の演出「雲海松江城」 節目の年を契機として、国内外から広く観光誘客を図るためのプロモーションを実施した。 ・武者によるお出迎え実績 ３０人 城下町松江ならではの素材を活用した JR との連携強化事業、甲冑姿の武者によるお出迎えを行う観光客おもてなし事業、また「松江は武者の日」イベント事業の３つの事業で松江魅力向上を図った。
事業の今後について	観光戦略プランを強力に推進するため、コンセプトである「Authentic Japan MATSUE ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。

②. インバウンド観光推進事業（松江市、（一社）松江観光協会）

事業実施期間	平成２３年度～【実施中】
事業概要	海外に向けたプロモーションや情報発信を行うとともに、外国人観光客が快適に滞在、周遊できる環境整備を行うもの。また、長期滞在と消費拡大に向け、各国の富裕層の誘客に取り組むもの。

国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－ 継続的にプロモーションや情報発信を実施することで、令和7年の宿泊客数は昨年対比で約28.9%増し、コロナ禍前の水準を上回った。一方で、総合計画目標値には達しなかったため、引き続き、効果的なプロモーションを継続していく。
事業の今後について	引き続き、海外に向けたプロモーションや情報発信を行うとともに、周遊できる受け入れ環境整備を行う。

③. 松江武者行列事業（松江市、松江市武者行列実行委員会）

事業実施期間	平成15年～【実施中】
事業概要	松江開府の祖、堀尾吉晴公とその一行が入城する様子を絢爛豪華な時代絵巻として再現する。勇壮な武者や色鮮やかな姫などに扮した毎年200人を超える参加者が、松江城を目指し市内を練り歩く事業。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和7年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－ 松江城天守国宝指定10周年の節目を記念し、俳優の吉田栄作氏をゲストに迎え、武者行列を開催した。松江城お城まつりと一体となって開催することで相乗的な盛り上げによる「中心市街地の宿泊者数」の増加を図った。
事業の今後について	市内周辺商店街と協力し賑わいを創出し、観光誘客につなげる。また、インバウンド事業を意識して体験等を増やし、外国人宿泊数の増加につなげていく。

④. 松江水燈路（松江市、松江ライトアップキャラバン実行委員会）

事業実施期間	平成15年度～【実施中】
事業概要	毎年秋に松江城を中心にその周辺施設などの歴史的景観をライトアップする。また、市民の手作りの灯りにより、滞在時間の増加と夜の観光振興を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（内閣府）（令和7年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－ 令和7年9月26日～令和7年10月18日まで開催。チラシや

	SNS、新聞広告や市報などでの PR を実施。松江の夜の賑わいを図ることで夜のまちあるき推進による「中心市街地の宿泊者数」の増加を図った。
事業の今後について	松江城周辺の周遊を促し、夜の観光振興を図ることで宿泊客数の増加につなげていく。

⑤. 松江水郷祭（松江水郷祭推進会議）

事業実施期間	昭和 4 年度～【実施中】
事業概要	市民の祭りとして定着している松江水郷祭を日本有数の花火大会として県外へ PR し観光誘客を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 7 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－ 令和 7 年 8 月 2 日（土）、3 日（日）に開催。チラシや SNS 等でプロモーションを実施した。松江水郷祭は市中心部に位置する宍道湖で開催されており、夜間コンテンツのため、夜間の滞在価値向上を図り、「中心市街地の宿泊者数」の増加を図った。
事業の今後について	日本有数の湖上花火イベントである松江水郷祭において、花火の演出強化、「水の都」にふさわしい趣向を凝らした演出等により訴求力のある花火大会へブラッシュアップすることで中心市街地内の宿泊客数の増加に寄与する。

⑥. まつえレディースハーフマラソン（松江市、まつえレディースハーフマラソン実行委員会）

事業実施期間	昭和 55 年～【実施中】
事業概要	松江城を発着とした、中心市街地内を回るハーフマラソン大会。松江のマラソン大会として、広く市民にも親しまれており、歴史・文化・自然豊かなコース風景を全国に PR することにより、大会と松江市のイメージアップを図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 7 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】設定していない 【最新値】－ R7 年度大会は、R6 年度大会に比べ 59 名増の 1,870 名の申込となり、コロナ禍以降最大の申込者数となった。R7 年度は団体割引制度の新設をはじめとした募集活動への注力が参加者増に貢献したと考えられる。
事業の今後について	大会知名度向上のための各種 PR 実施、団体割引制度の継続した運用などを行い、更なる参加者増加に注力する。

●目標達成の見通し及び今後の対策

「中心市街地内の宿泊客数」については、物価高騰の影響により、コロナ禍以前の水準を下回る状況が続いている。

今後は、DMOと連携し、ブランディングやプロモーションを展開することで、目標達成に向けて取り組んでいく。